

渥美半島 大地と海の恵み 46

農政課 ☎23-3517

アサリを「守り育てる」ために

貝の半島と呼ばれる渥美半島は、全国有数のアサリの産地です。この産地を守るために、アサリを「採る」だけでなく、「守り育てる」ためさまざまな取り組みを行っています。

◆アサリの天敵！ツメタガイの駆除

ツメタガイは、アサリの殻に穴を開けて身を食べてしまうアサリの天敵です。そのためツメタガイの産卵期である6月から8月までの間、漁師が海に入ってツメタガイの卵を手で拾い、多いときには100kg以上の卵を駆除します。他にもエイやヒトデもアサリを食べてしまうため、定期的に駆除を行っています。

◆網をかけてアサリを保護

アサリは秋から冬の間減少するといわれています。これは冬の波によりアサリが掘り返されたり、栄養不足になったりすることなどが原因とされています。そのため、この期間、アサリを保護している区域には、網をかぶせ、砂の移動を防止し、エイなどからもアサリを守っています。



▲網をかぶせて、アサリを保護

◆渥美半島産の美味しいアサリを食べよう

三河湾の潮の流れは、沖で海水と河川からの淡水がバランス良く混ざり合い、アサリの餌となる植物プランクトンが豊富にあります。そのため身がぷくぷくに肥えた、旨みの深いアサリが育ちます。愛知県のアサリの旬は産卵を控えた春と秋です。春の方が身が大きく、2月頃から5月頃までが一番おいしい時期といわれています。

◆春はぜひ、潮干狩りに

潮干狩りは子どもも大人も楽しめ、持ち帰ったアサリを存分に味わうことができます。市内では、毎年3月末から5月末まで、白谷地区と小中山地区で潮干狩り場が運営されています。渥美半島の旬のアサリを食べたいと思ったら、今年の春はぜひ、潮干狩りに出掛けてみてください。



▲潮干狩りの様子

▼渥美漁業協同組合田原事務所

☎ 22 1 2 1 5

▼小中山漁業協同組合

☎ 32 0 2 1 9

今月の花

1月の

渥美半島の花と鉢花

リシアンサス

(花 / 出荷時期: 10月～7月)

花ことば

優美、希望

別名トルコギキョウ。冠婚葬祭などに広く利用されています。県内1位の生産量で、約150万本出荷されています。



ランンキュラス

(鉢花 / 出荷時期: 12月～3月)

鉢

花ことば

華やかな魅力

幾重にも重なった花びらが美しく、鮮やかな色合いで寒い冬を彩ってくれます。年間約8万鉢出荷されています。

